

第14回都道府県議会議員研究交流大会開催概要(案)

- 開催日時** 平成26年11月11日(火) 13時30分～17時50分
(交流会 18時～19時)
- 主催** 全国都道府県議会議長会
- 後援** 総務省(予定)
- 会場** 都市センターホテル3階「コスモスホール」を主会場として実施
〔所在地：東京都千代田区平河町2-4-1〕
- 参加対象者** 都道府県議会議員(各都道府県5～10名程度)
ほかに都道府県議会事務局職員

開催趣旨 都道府県議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行うとともに、大会参加を通じて議員間の一層の連携を深め、もって地方分権の時代に即応した議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資することを目的とする。

メインテーマ 地方分権や人口構造の変化などに伴い、自治体の進むべき方向の決定を担う地方議会の果たすべき役割がますます増大している。
このため、近年の制度改革の成果を改めて検証するとともに、現実の議会運営における活用方策を研究し、議会の役割や住民との関係等について考える。

大会構成

1. 主催者あいさつ 13:30～13:35
2. 基調講演 13:40～15:10
「地方自治体の将来展望と都道府県議会の役割」(仮題)
<講師> 神野直彦 東京大学名誉教授
3. 分科会 15:30～17:50
テーマ別の5分科会で、コーディネーターから基本的な説明を行った後、パネリストの議員から自県の事例等を発表し、参加者と意見交換を行う。
4. 交流会 18:00～19:00
希望者による会費制の立食懇談会を設ける。

分科会テーマ

1. 議会運営の改革

地方分権の進展に伴い、自主的・自立的な議会運営や住民に開かれた議会運営が求められており、各議会の取組みを踏まえ、改めて今後の議会運営改革の方向について考える。

2. 議会の政策立案機能の強化

議会からの政策提案の強化が求められ、議員や委員会の条例発議が活発化しているが、その事例紹介を踏まえ、今後の政策立案機能強化の手法や課題について考える。

3. 行政チェック機能の強化

首長と議会が向き合う二元代表制において、議会がどのような監視機能を果たすべきか、果たしうるか、チェック機能のあり方と具体的手法について考える。

4. 住民との関係強化

民意の的確な反映・住民参加の拡充が求められており、住民との関係強化に向けた具体的取組を踏まえ、住民代表機能強化の方法について考える。

5. 地方自治体の将来像と議会

人口減少、少子高齢化などにより、個別自治体のみでは全ての行政サービスの提供が困難となることから、広域的な連携や事務の補完などによる地元自治体の将来像と圏域全体の未来を描く議会の役割を考える。